

○日本 GIF 研究財団の設立

法人組織設立に向けて

1988年のサンフランシスコ会議の結果を受けて、アメリカに任意団体「北米 GIF 研究クラブ」が設立された。以降日本においても、GIF 構想を研究・推進するための正式な法人組織を設立しようとの動きが本格化した。

1989年6月、東京にてDK会「GIF 研究クラブ」を開催し、DK会から独立したGIF構想の推進組織の設立に向け、設立趣意、構想骨子、組織名称等について具体的な検討を行った。

組織の形態は、民間セクターが基金を出し合い、財団法人とすることとなった。経団連は懇親会を組織化し、寄付金の募集も含め、全面的なバックアップを行った¹。

日本では前例のない事業内容の組織であるため、財団設立までには様々な困難があったが、関係者の熱意と粘り強い交渉により、少しずつ組織実現への構想は具体化していった。

GIF 構想が幅広い分野に関わることから、主務官庁は、建設省、経済企画庁、外務省、大蔵省、農林水産省、通商産業省、運輸省の7省庁とした。特に主管官庁は定めなかったが、必要な場合は建設省が取りまとめることになった。

組織の名称については、当初「世界公共基金構想研究財団」を仮称として検討がなされたが、最終的には、世界各地にあるGIF研究組織と共通の名称として横の連携を図るため、「財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団（英語名称:Global Infrastructure Fund Research Foundation Japan）」、略称を「日本GIF研究財団」とすることとなった。

1989年秋には、設立構想はほぼ固まり、国内でも財団の設立について報道された²。週刊ダイヤモンド1990年2月17日号では、「GIF構想が世に出て13年目。世界的大プロジェクトの促進に向けた官民挙げての体制が、今ようやく整ってきたのである」と、財団設立を歓迎した³。

1990年2月、スイスのダボスで開催された「世界経済フォーラム」において、経団連の斎藤英四郎会長、佐波正一副会長がブリーフィングセッションでGIF構想について発言し、研究組織の設立を宣言した。

日本 GIF 研究財団の設立

1990年9月28日、財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団（以下、「日本GIF研究財団」とする）の設立の許可を得た。10月4日に法人登記を完了し、主務官庁に届出を行った。10月29日に第1回理事会・評議員会と設立披露パーティを東京に

て開催した。設立時の役員・評議員は以下の通りである。

表1 日本 GIF 研究財団 設立時の役員・評議員

役職	氏名	会社役職	所属名	
名誉会長	中島 正樹	相談役	(株)三菱総合研究所	
会長	斎藤 英四郎	会長	(社)経済団体連合会	
理事長	佐波 正一	相談役	(株)東芝	
専務理事	関 晴雄	常務理事	アジア経営開発協力財団	
常務理事 兼事務局長	山元 順雄	国際政策部長	(株)三菱総合研究所	
理事	石川 六郎	取締役会長	鹿島建設(株)	
	石原 俊	取締役会長	日産自動車(株)	
	磯田 一郎	相談役	(株)住友銀行	
	岩田 武夫	相談役	(株)東芝	
	大河原 良雄	特別顧問	(社)経済団体連合会	
	大来 佐武郎	会長	内外政策研究会	
	小野 晋	相談役	日本郵船(株)	
	尾之内 由起夫	理事長	(財)道路新産業開発機構	
	河合 良一	取締役会長	(株)小松製作所	
	熊谷 太一郎	取締役社長	(株)熊谷組	
	小池 精一	取締役社長	(株)間組	
	小長 啓一	代表取締役社長	アラビア石油(株)	
	後藤 康男	取締役社長	安田火災海上保険(株)	
	佐古 一	取締役会長	大成建設(株)	
	高木 丈太郎	取締役社長	三菱地所(株)	
	龍野 富雄	取締役社長	丸紅(株)	
	津室 隆夫	取締役社長	(株)大林組	
	中村 俊男	相談役	(株)三菱銀行	
	西垣 昭	総裁	海外経済協力基金	
	速水 優	取締役会長	日商岩井(株)	
	平岩 外四	取締役会長	東京電力(株)	
	藤田 一憲	取締役社長	(株)フジタ	
	増澤 高雄	取締役副会長	(株)日本長期信用銀行	
	町田 良治	取締役会長	三井建設(株)	
	松澤 卓二	相談役	(株)富士銀行	
	水野 廉平	取締役社長	五洋建設(株)	
	諸橋 晋六	取締役社長	三菱商事(株)	
	柳谷 謙介	総裁	国際協力事業団	
	八尋 俊邦	相談役	三井物産(株)	
	山口 光秀	総裁	日本輸出入銀行	
	山本 卓真	取締役会長	富士通(株)	
	吉野 照蔵	取締役会長	清水建設(株)	
	米倉 功	取締役会長	伊藤忠商事(株)	
	渡辺 文夫	相談役	東京海上火災保険(株)	
監事	井上 實	相談役	(株)東京銀行	
	中村 和夫	常勤監査役	三菱地所(株)	
	横井 士郎	常務取締役	(株)日本長期信用銀行	
評議員	朝倉 孝吉	学長	東洋英和女学院大学	
	生田 豊朗	理事長	(財)日本エネルギー経済研究所	
	石井 威望	教授	東京大学工学部	
	稲葉 秀三	理事長	(財)産業研究所	
	衛藤 瀧吉	学長	亜細亜大学・日本経済短期大学	
	河合 三良	会長	(財)国際開発センター	
	宍戸 寿雄	理事長	(財)建設経済研究所	
	細見 卓	会長兼理事長	(株)ニッセイ基礎研究所	
	宮崎 勇	理事長	(株)大和総研	
	宮脇 昭	センター長	横浜国立大学環境科学研究センター	
	三好 正也	事務総長	(社)経済団体連合会	
		八十島 義之助	学長	帝京技術科学大学

※敬称略、法人名・肩書は1990年9月当時

事務局組織は、事務局長の下に総務部、研究企画部、業務企画部、渉外・調整室を置くこととした。

1992年3月、主務官庁より特定公益増進法人の認定を受け、日本GIF研究財団第6回理事会・第5回評議員会において、事務局組織の変更が承認された。それにより、今後の更なる業務拡大のため、業務企画部を業務企画第1部、業務企画第2部、業務企画第3部、業務企画第4部の4つに分け、従来からの総務部、研究企画部、渉外・調整室とともに6部1室体制とし、GIF構想を研究・推進していくこととなった。

※人物の所属組織名・肩書は当時

¹「超大型開発はまかせて 新日鉄など20社が財団」、日本経済新聞、1989年10月10日

²「世界公共投資基金構想 推進財団 来春設立へ 建設・商社30億円出資」、読売新聞、1989年10月29日 : 「地球規模の公共投資 国際基金実現へ 砂漠緑化や運河 日本財団 30億円、3月に設立」、読売新聞、1990年1月29日

³「特別レポート 日本企業が活躍 世界大プロジェクト始動 “GIF”（世界公共投資基金）に財界が総結集」、週刊ダイヤモンド、1990年2月17日号